

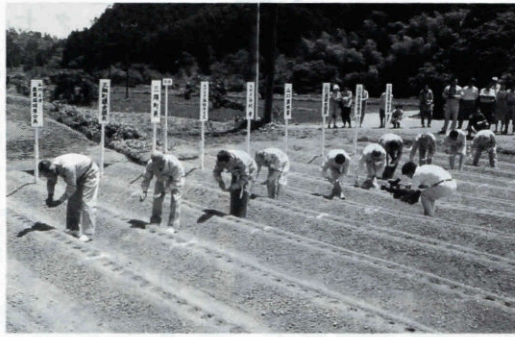
わがラグビー人生
～ 藪木宏之氏長門市で講演～

6月13日、長門市中央公民館で約400名が集い、長門地協フォーラム講演会が開かれ、町内豊原出身で神戸市在住の藪木宏之さんが、「ラグビーから学んだ人間力」と題して、自分のラグビー人生を熱っぽく語りました。

藪木さんは、高校入学の時、TVで見た全国高校ラグビー選手権決勝戦に感動したのをきっかけにラグビーを始め、高校3年の時全国大会に出場し、みごと3位に入賞。以来ラグビーの楽しさに魅せられ、1988年に(株)神戸製鋼所に入社。翌年よりラグビー日本選手権7連覇に貢献。現在は広報部に在籍し、報道関係者への対応等、多忙な日々を送っていらっしゃいます。



なつかしい顔を前にして
熱く語る藪木氏



▲ 畦の上に種まき

今秋、宮中で行われる新嘗祭に上納する献穀粟の播種式が6月7日、二条窪の奉耕者・谷村孝さんのほ場で行われました。式典には県知事代理綿屋出納長、藤井県農林部長、湊県議、長門市長、日置町長、油谷町長ら60数人が出席。播種は久留米がすりに赤たすき姿の8人の植女から、谷村夫妻をはじめ10人の播種者が種を受けとりそれぞれの畦に種をまきました。ほ場の面積は2アール、品種は「五十鈴粟」。

三隅町からの献穀粟奉耕者は昭和51年、大竹の浮村さんが選ばれて以来21年ぶり。今回の播種式に備え、地元自治会は会場周辺の整備、当日の神事を受け持ち、二条窪自治会あげての行事となりました。粟という特殊農産物は、この地域でめったに見ることのできない作物であり、9月の実りの秋には谷村さんほ場にて、ぜひ一見の価値あり。

伝統守り 献穀粟播種式

奉耕者 谷村 孝さん (二条窪)



▲ 植女から斎種を受ける播種者

農業で国際交流

～ 韓国から高校生視察団～

度は？」「肥料の成分は？」また「経常利益はいくらぐらい？」

6月12日、お隣の韓国から、農業高校生視察団約40名の一行が上中小野にある、水耕ネギ栽培のハウスを訪れました。これは、山口県と姉妹提携を結んでいる韓国慶尚南道の国際交流事業の一つとして行われているもので、梅雨の合間の晴天で照りつける太陽の下、グリーンファーム北長門の代表田辺英雄さんの説明に、熱心にメモをとり、「製品にしての価格は？」「栽培の温度は？」「栽培の温

等、いろんな質問も出たりして、韓国のたくましい農業後継者の一面をのぞかせていました。一行はその後、山口市内の宿舎にもどり、次の日の夕方、下関からのフェリーで帰国されたそうです。

▼ 熱心に説明を聞く学生たち



▲ ハウスの中

農家のみなさん

転作確認は
7月24日(木)
です

平成9年度の転作確認は7月24日(木)に行うことになりました。農家のみなさんには、転作田の立札の設置を前日までお願いします。

▶ 転作田の立札

新生産調整推進対策事業確認票	
自治会名	
農家番号	
氏名	
水字番地	
作物名	
指示事項	
1.この札は確認終了まで取らないで下さい。	確認日
2.正しい結果でしっかり記入して下さい。	確認者
	三隅町